



証券コード 3160

# 2021年5月期 決算説明資料

(2020年6月1日～2021年5月31日)

2021年7月14日

1. 2021年5月期 決算概要 … P 3

2. 2022年5月期 業績見通し … P17

3. 補足資料 … P21

# 1. 2021年5月期 決算概要

# 連結業績概要

(単位：百万円)	20/5期		21/5期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	60,659	100.0%	54,133	100.0%	△ 6,526	△10.8%
売上総利益	11,684	19.3%	10,955	20.2%	△ 729	△6.2%
販売費及び一般管理費	11,283	18.6%	10,715	19.8%	△ 568	△5.0%
営業利益	400	0.7%	239	0.4%	△ 161	△40.3%
経常利益	473	0.8%	395	0.7%	△ 78	△16.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	0.4%	△ 441	-	△ 660	-

■ 減収減益、新型コロナウイルス感染症の影響から売上高は10.8%減

## 外部環境

- 2020年4月に発出された緊急事態宣言の解除後は、政府による需要喚起策の効果などから個人消費に持ち直しの動きが見られた
- しかしながら、11月以降感染拡大が再燃、2021年1月に2度目の緊急事態宣言が発出  
4月には3度目の緊急事態宣言が発出
- 当社の主要販売先である外食産業では、外出自粛による来店客数の減少、感染拡大に伴う休業要請や営業時間短縮要請などから、厳しい状況が継続

## 業績ポイント

- 売上高は、第2四半期までは回復傾向にあったものの、第3四半期以降再び落ち込んだ
- 外商事業の売上高は16.5%減、アミカ事業は一般消費者の需要を取り込み0.9%減に留める
- 営業利益は、販管費を5.0%減と抑制したものの、減収が響き減益
- 親会社株主に帰属する当期純損失は、投資有価証券評価損や減損損失の計上等が影響

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	20/5期 実績	21/5期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	60,659	54,133	△ 6,526	△ 10.8%
売上総利益	11,684	10,955	△ 729	△ 6.2%
販売費及び一般管理費	11,283	10,715	△ 568	△ 5.0%
営業利益	400	239	△ 161	△ 40.3%
営業外収益	185	262	+77	+41.7%
営業外費用	112	106	△ 5	△ 5.3%
経常利益	473	395	△ 78	△ 16.5%
特別利益	-	5	+5	-
特別損失	72	612	+540	+749.7%
税金等調整前当期純利益	401	△ 211	△ 613	-
法人税等	182	229	+47	+25.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	218	△ 441	△ 660	-

## 売上高

- 外商事業は、外食産業の経営環境悪化に伴い、売上高は16.5%減（△6,279百万円）
- アミカ事業は、一般消費者の来客数が向上していることから、外食事業者向けの販売の落ち込みをカバー、売上高は0.9%減（△180百万円）と若干前期を下回る

## 売上総利益

- 売上減少に伴い売上総利益が減少

## 販売費及び一般管理費

- 販売費及び一般管理費は5.0%減と抑制
- 人員配置の見直し等による人件費の抑制
- Web会議推進や出張自粛による旅費交通費の削減
- 配送や庫内作業の見直しなど、個別取引ごとに物流効率化に取り組み運搬費が減少

## 営業外収益

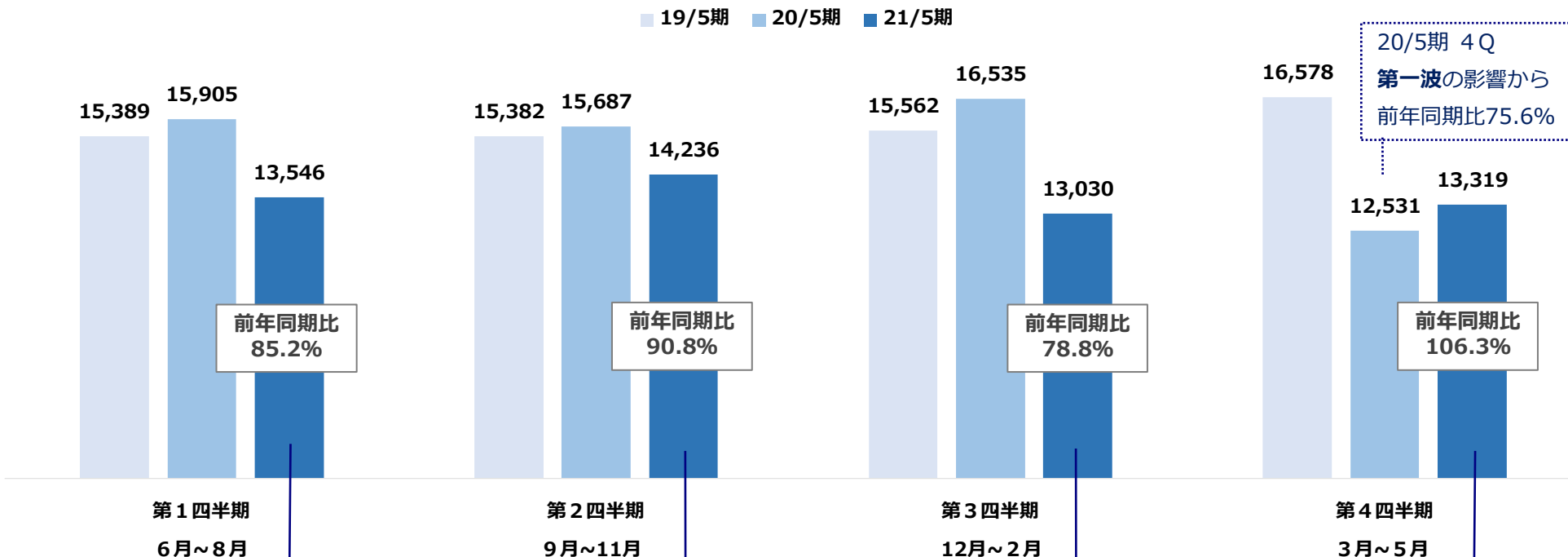
- 助成金収入（雇用調整助成金）の計上により増加

## 特別損失

- 投資有価証券評価損（431百万円）の計上
- 減損損失（170百万円）の計上

# 売上高推移（四半期・期間別・過年度比較）

単位：百万円



20年5月末に緊急事態宣言が解除され緩やかに売上は回復傾向にあったものの、8月には**第二波**が発生

GoToキャンペーンなど政府による需要喚起策の効果から個人消費が徐々に回復し売上も回復が進む

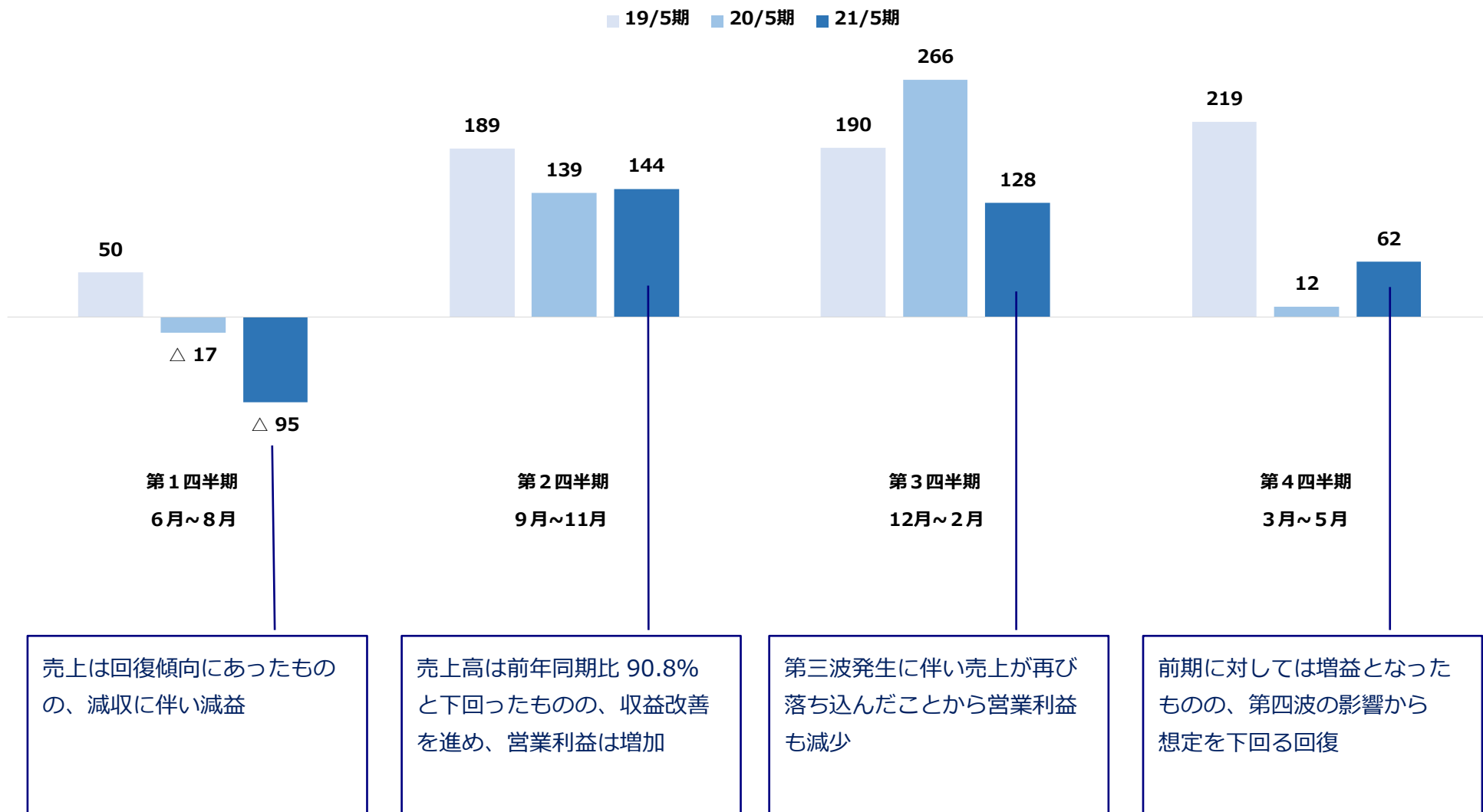
**第三波**が発生  
1月に緊急事態宣言発出  
年末年始の宴会需要が激減  
売上が再び落ち込む

**第四波**が発生  
4月に緊急事態宣言発出  
前年同期は上回っているものの前々期に対し20%近く下回る



# 営業利益推移（四半期・期間別・過年度比較）

単位：百万円

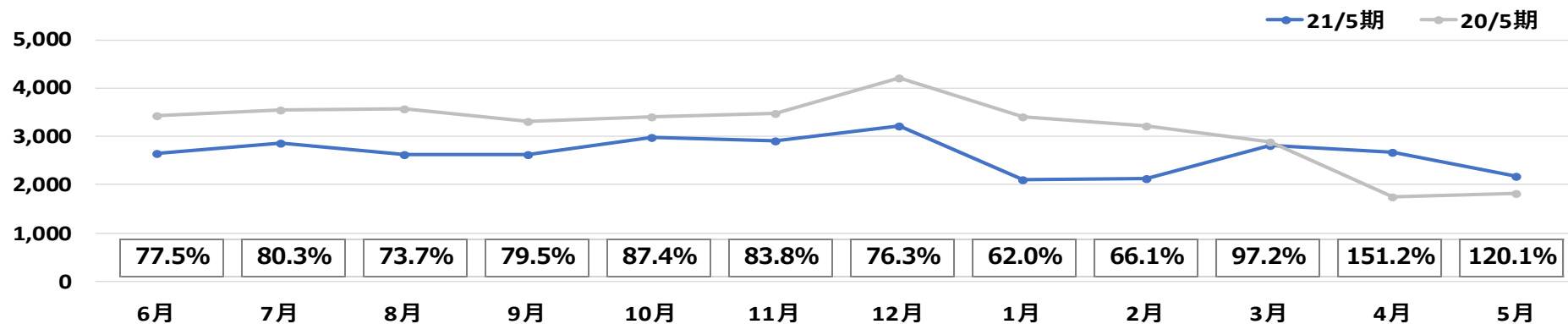


# 外商事業・アミカ事業 月次売上推移

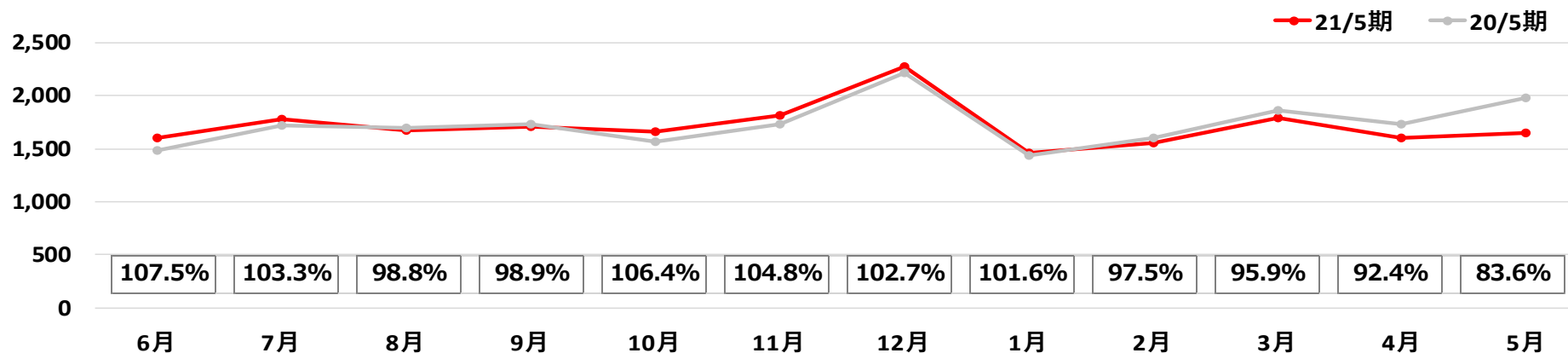
## 外商事業

※ 四角内の数値は売上高の前年同月比です。

単位：百万円



## アミカ事業



# セグメント別の概要

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	20/5期	21/5期	前期比		20/5期	21/5期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
外商事業	38,032	31,752	△ 6,279	△16.5%	△ 509	△ 565	△ 56	-
アミカ事業	20,761	20,581	△ 180	△0.9%	1,834	1,726	△ 108	△5.9%
水産品事業	2,003	1,940	△ 63	△3.1%	12	19	+6	+48.2%
その他 ※	16	15	△ 0	△3.5%	4	5	+0	+11.0%
調整額 ※	△ 154	△ 156	△ 2	-	△ 942	△ 945	△ 3	-
計	60,659	54,133	△ 6,526	△10.8%	400	239	△ 161	△40.3%

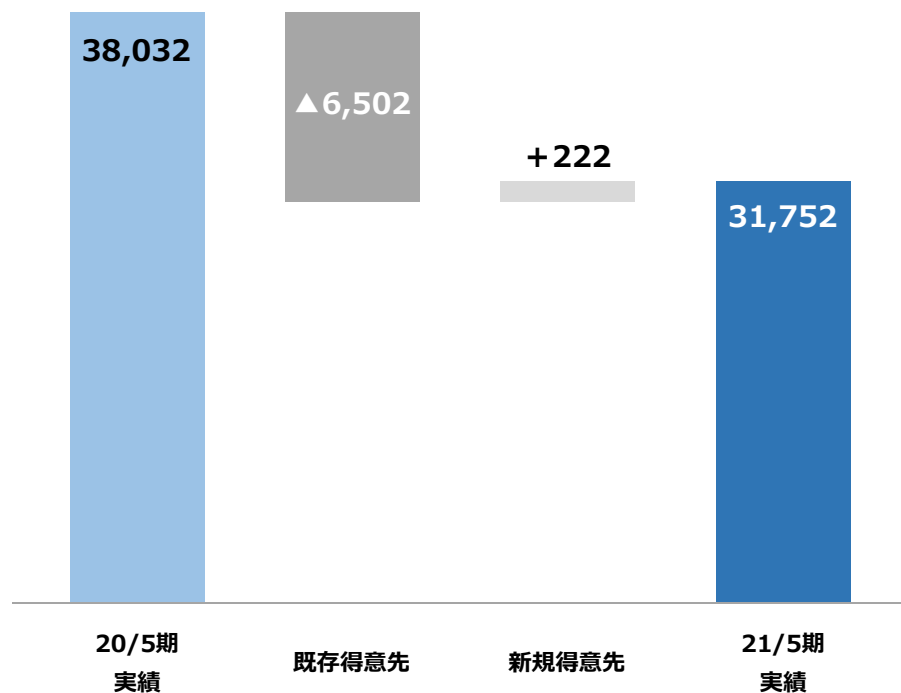
※ 売上高にはセグメント間の内部売上高を含めています。

※ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでいます。営業利益の「調整額」は、本社経費等です。

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	20/5期	21/5期	前期比		20/5期	21/5期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
外商事業	38,032	31,752	△ 6,279	△ 16.5%	△ 509	△ 565	△ 56	-

### 売上高の増減内訳

単位：百万円



### 売上高の増減要因

- 居酒屋、ホテル等の外食業態得意先における売上不振が響き、既存得意先売上は減少
- 新規得意先による売上は222百万円獲得
- コロナ影響の少ない給食・中食・病院等の業態に対する販売に注力

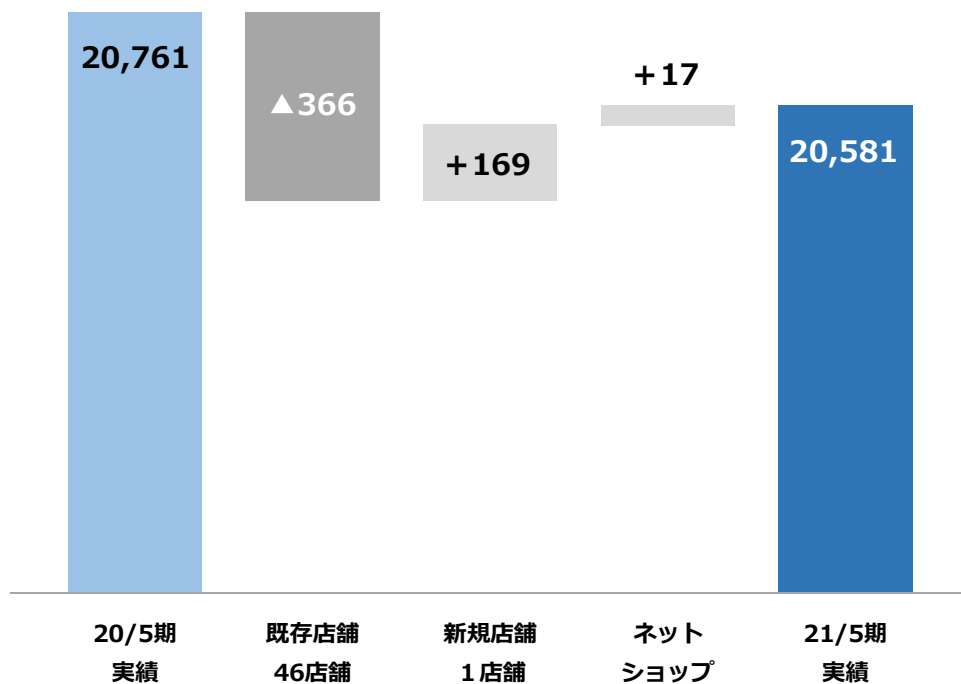
### 営業利益の増減要因

- 物流費の抑制など収益改善を進め一定の効果はあらわれているものの、減収が響き減益

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	20/5期	21/5期	前期比		20/5期	21/5期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
アミカ事業	20,761	20,581	△ 180	△0.9%	1,834	1,726	△ 108	△5.9%

### 売上高の増減内訳

単位：百万円



### 売上高の増減要因

- 既存店売上は、外食事業者向けの売上が落ち込んでいることから前期比1.9%減
- 家庭内消費に適したアイテム拡充など一般消費者向けの販売に注力し、一般消費者の来客数は向上
- 新規出店は、2020年11月に長野県初進出となるアミカ飯田店を開業

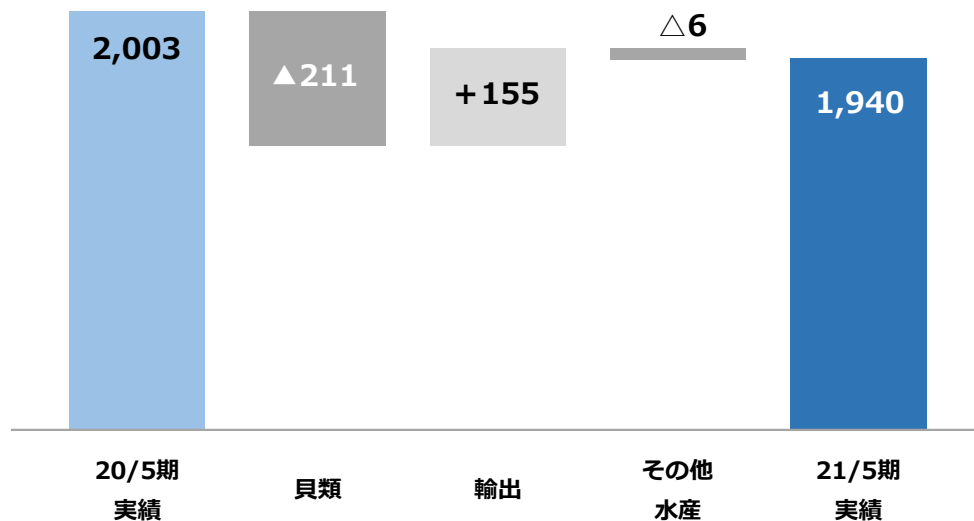
### 営業利益の増減要因

- 新規出店に伴う経費増加の影響などから減益

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	20/5期	21/5期	前期比		20/5期	21/5期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
水産品事業	2,003	1,940	△ 63	△ 3.1%	12	19	+6	+48.2%

### 売上高の増減内訳

単位：百万円



### 売上高の増減要因

- 外商事業と同様に外食業態向けの販売に苦戦し、貝類の売上は前期を下回る
- 国産帆立貝等の輸出販売に注力し、貝類の売上の落ち込みをカバー
- 海外販売先における国産帆立貝等の評価は高く、継続して輸出販売の強化に取り組む

### 営業利益の増減要因

- 売上は減少したものの、販管費を抑制し増益着地

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)	20/5期 5月末	21/5期 5月末	前期比 増減額
流動資産	9,006	9,123	+117
固定資産	7,559	7,062	△ 497
総資産	16,565	16,185	△ 379
流動負債	8,430	8,262	△ 167
固定負債	3,367	3,574	+206
負債合計	11,798	11,836	+38
純資産	4,766	4,348	△ 418
自己資本比率	28.8%	26.9%	△ 1.9%

## 主な増減要因

- **流動資産**
  - 受取手形及び売掛金の増加 + 548
- **固定資産**
  - 投資有価証券の減少 △ 301
- **流動負債**
  - 短期借入金の減少 △ 265
- **固定負債**
  - 長期借入金の増加 + 184

(単位：百万円)	21/5期
営業活動によるキャッシュ・フロー	891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 328
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 131
現金及び現金同等物の期首残高	419
現金及び現金同等物の期末残高	288

## 主な増減要因

### ■ 営業キャッシュ・フロー

売上債権の増加	△548
たな卸資産の減少	+532
減価償却費の計上	+480
投資有価証券評価損の計上	+431

### ■ 投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△622
----------------	------

### ■ 財務キャッシュ・フロー

長期借入による収入	+1,100
長期借入金の返済による支出	△983
短期借入金の純減額	△265



## 2. 2022年5月期 業績見通し

# 連結業績予想（通期）

(単位：百万円)	21/5期		22/5期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	54,133	100.0%	57,100	100.0%	-	-
営業利益	239	0.4%	400	0.7%	-	-
経常利益	395	0.7%	445	0.8%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 441	-	245	0.4%	-	-

※ 2022年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、前期比増減額及び増減率は記載しておりません。

- ワクチン接種が進むことにより、新型コロナウイルス感染症による外食産業への影響が緩和していくことを想定
- 年内までにワクチン接種が相当量まで進むと想定し、上期は足元と同様の影響を受けるものの期末にかけて従来の売上水準に近いところまで回復していくことを前提として業績予想を算定

## 外商事業

- 既存得意先との取引深耕
- テイクアウト、デリバリーなどニーズ変化に応じた提案営業強化
- 病院・老健施設・中食など多様な得意先に対する新規開拓の強化
- 物流費をはじめとする経費抑制

## アミカ事業

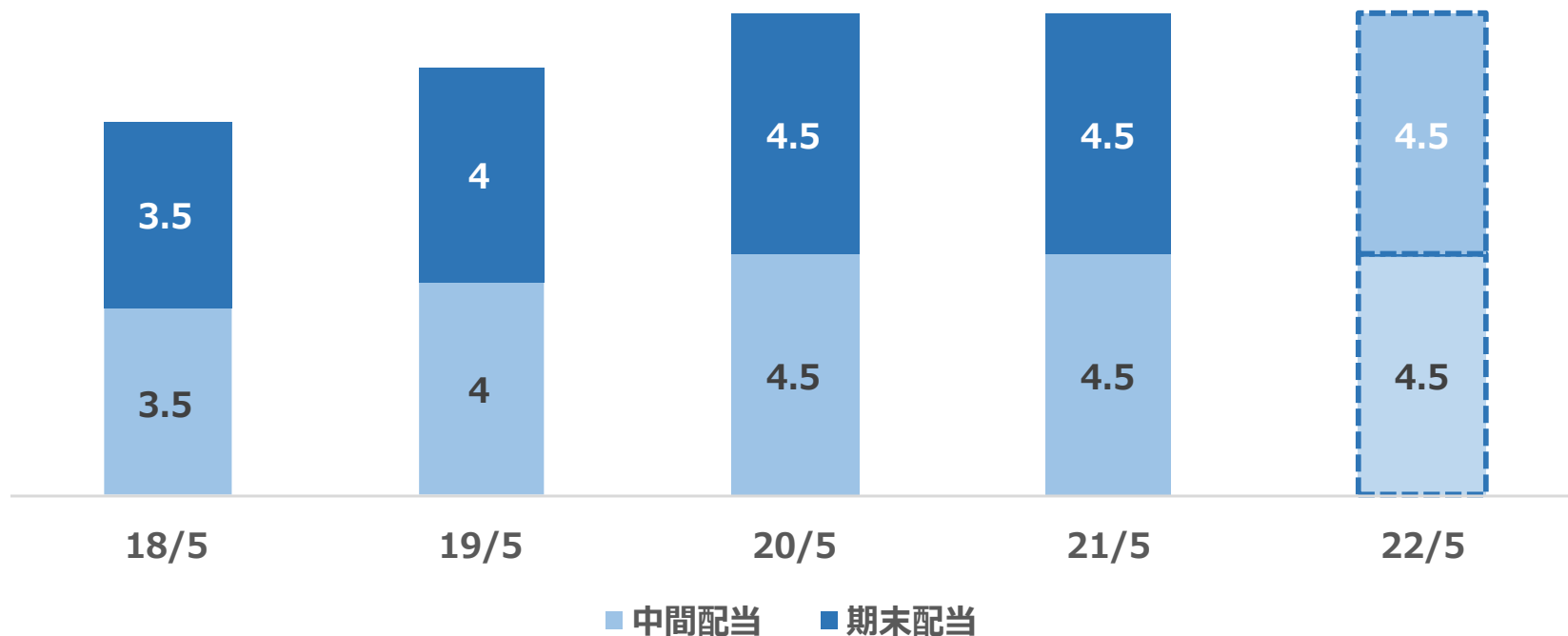
- 継続的な新規出店（2021年6月静岡清水店オープン）
- 家庭内消費に適したアイテム拡充など一般消費者向けの販売強化
- テイクアウト向け商材などニーズ変化に応じた販売強化
- SNSの活用など販促活動の強化

## 水産品事業

- 既存得意先との取引深耕と輸出販売の強化
- 海外販売先も含めた新規開拓
- 外商事業・アミカ事業との連携による水産品提案の強化
- 在庫管理の徹底によるロス削減

## 配当金の推移

単位：円



- 21/5期は減収減益となったものの、中間配当4.5円、期末配当4.5円

## 3. 補足資料

会社名	株式会社大光（東京証券取引所 市場第一部：3160）
代表者	代表取締役社長 金森 武
本社	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年（昭和23年） 6月
設立	1950年（昭和25年） 12月
事業内容	業務用食品卸売および小売業
事業所・店舗	外商事業：10事業所 アミカ事業：47店舗
子会社	株式会社マリンドリカ
資本金	10億76百万円 ※
発行済株式総数	13,450,800株 ※
株主数	17,970名 ※

※ はすべて2021年5月31日時点の内容です。発行済株式総数のうち、自己株式が200,012株あります。

## 外商事業

業務用食品等  
卸売事業

外食・給食・惣菜など様々な「食」に関連する企業に業務用食品等を販売

対象顧客：大手外食チェーン、ホテル、レストラン、事業所給食、  
学校給食、弁当、惣菜、病院、老健施設など

## アミカ事業

業務用食品等  
小売事業

業務用食品スーパー「アミカ」、業務用食品専門のネットショップを展開

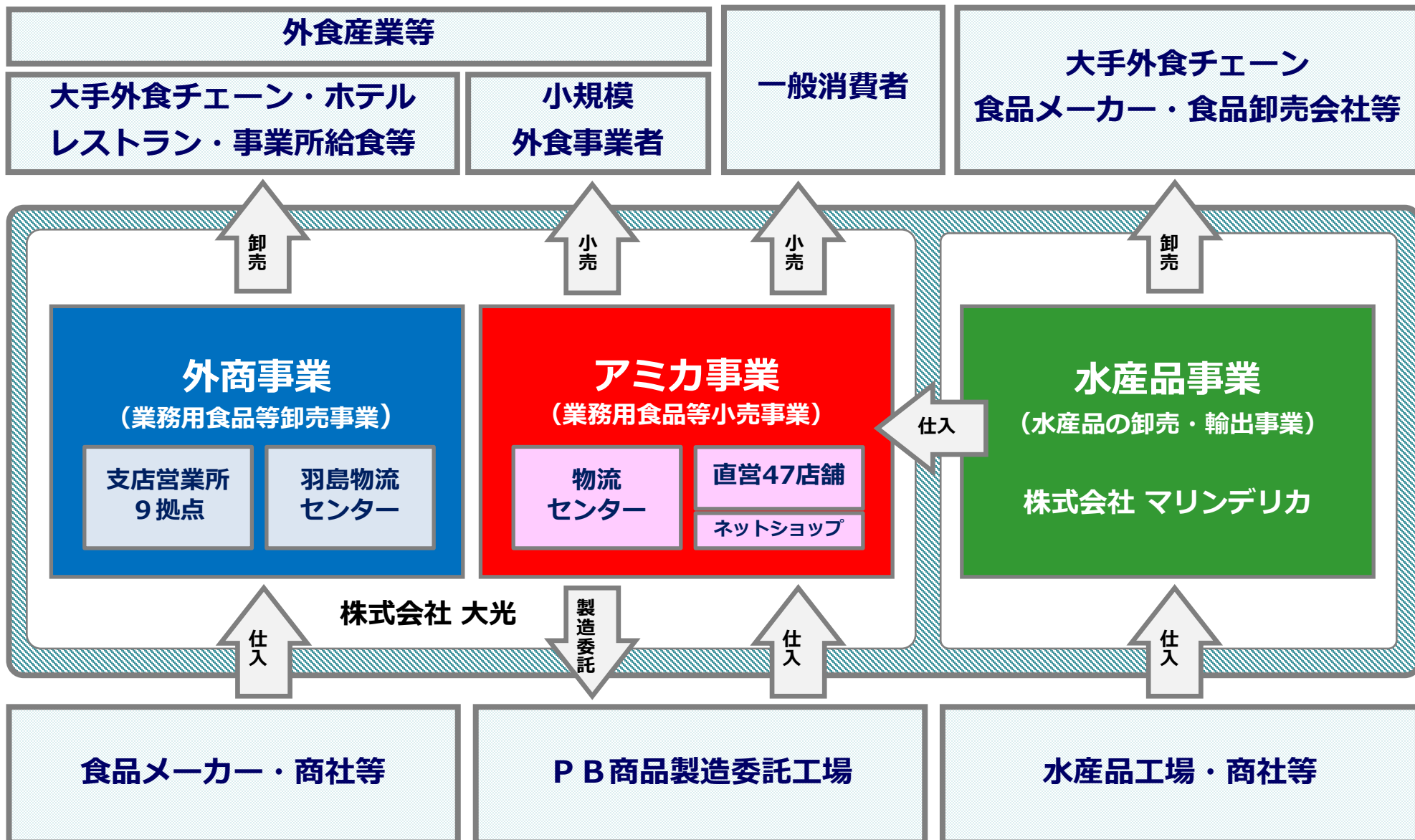
対象顧客：小規模外食事業者、一般消費者

## 水産品事業

水産品の卸売  
輸出事業

貝類を中心とした水産品の国内販売、輸出版売

対象顧客：大手外食チェーン、食品メーカー、食品卸売会社など







証券コード 3160

本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものであります。

通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、変更する可能性及び本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

<お問い合わせ先>

株式会社大光 経営企画室

電話：0584-89-7823（直） FAX：0584-89-7333

E-mail：ir@oomitsu.com

[http:// www.oomitsu.com/](http://www.oomitsu.com/)